

## (様式3)

## 外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	大阪府	市町村名	門真市	大学名	
派遣日	令和2年10月7日(水) 14:00~17:00 13:45 JR学研都市線 住道駅に送迎 (公用車で移動) 14:00 門真市教育センター到着 打ち合わせ (会場確認と講義内容打ち合わせ・市教育委員会への指導助言) 14:30 令和2年度 第2回門真市日本語指導対応加配教員等連絡協議会 (講義・日本語指導対応教員等からの質問への回答・協議内容への助言) ※別添 実施要項参照 16:30 門真市教育センターにて、ふり返り (市教育委員会の施策に対する指導助言) 17:00 門真市教育センター出発 (公用車で移動) 17:15 JR学研都市線 住道駅に送迎				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣 <input type="checkbox"/> 遠隔				
派遣場所	門真市教育センター 〒571-0025 大阪府門真市大字北島546番地 市民プラザ4階				
アドバイザー氏名	土屋 隆史 主任指導主事 (横浜市教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課)				
相談者	田中 力 (門真市教育委員会教育部学校教育課指導主事)				
相談内容	<p><b>【自治体としての日本語指導体制について】</b></p> <p>門真市では、日本語指導対応教員の巡回による日本語指導を実施している。日本語指導が必要な児童・生徒の少数散在化が進む中で一定の成果を挙げているが、移動時間のロスや時間割調整の難しさなど課題も抱えている。</p> <p>横浜市が実施している、日本語教室への通級やプレクラスなど、様々な日本語指導体制について具体的にご教授いただくとともに、巡回方式の継続・通級方式への変更・ICTを活用した遠隔方式の併用など、今後の門真市における最も効果的な日本語指導体制について協議する場において、アドバイザーの専門的な知見を活かして、指導助言をお願いしたい。</p> <p><b>【日本語指導を行う教員の資質向上について】</b></p> <p>門真市の日本語指導対応教員の中には知識や経験が少ない教員も多い。大阪府教育庁等が主催する教員研修や学校間の情報交流をとおして学んではいるものの、特別の教育課程による日本語指導の具体的な指導内容や、日本語指導が必要な児童・生徒の言語・文化・宗教・家庭など様々な背景に配慮した支援の方法などについての教員研修を実施する必要性は高い。門真市教育委員会としても、系統的な教員研修等を実施し、日本語指導対応教員の資質向上を図りたいが、系統性の確保や専門的な知見を有する講師の選定・招聘が難しい状況にある。</p>				

(様式3)

<p>派遣者からの指導助言内容</p>	<p><b>【自治体としての日本語指導体制について】</b></p> <p>横浜市における日本語指導が必要な児童・生徒への支援について、「国際教室」「横浜市日本語教室」「母語支援ボランティア」や、日本語支援拠点施設「ひまわり」「鶴見ひまわり」、さらに「プレクラス」就学前教室「さくら教室」など、様々な例を挙げてご説明いただいた。また、それぞれの教室・施設等で日本語支援にあたる人材がどのような資格や専門性を持っているのか、どうやって連携しているのかなどについても詳細にご説明いただいた。</p> <p>加えて、教員の配置や資質向上、母語支援ボランティア等の人材確保にあたっての横浜市教育委員会の施策や方針、学校への指導助言内容についてもご教授いただいた。</p> <p><b>【日本語指導を行う教員の資質向上について】</b></p> <p>具体的なケースを多く交えながら、日本語指導が必要な児童・生徒の課題と支援の方法を具体的にご講義いただいた。特に、日本語指導が必要な児童・生徒と関わる際に教員が見落としやすい課題については、表出している状況だけでなく、母語や出身国の習慣・文化についても理解した上で関わる必要があることを丁寧にお話しいただいた。</p> <p>また、JSLカリキュラムの考え方、「取り出し指導」と「入り込み指導」など指導形態ごとの長所と短所、日本語指導担当者と担任・教科担当者間の連携・情報共有の大切さ等について、具体的な理論やご自身の経験を交えて、分かりやすくご講義いただいた。</p>
<p>相談後の方針の変化、今後の取組方針等</p>	<p>アドバイザーからは、連絡協議会の中だけでなく、打ち合わせやふり返りの時間にも、示唆に富んだお話を聞かせていただいた。交通手段や交通費の負担を含め、通級方式で生徒が移動する際の具体的な状況について聞かせていただいたり、横浜市が実施する様々な日本語支援の体制について詳細な資料を提供していただいたりしたことは、門真市教育委員会として、これからの日本語指導体制を検討していくための貴重な資料となった。</p> <p>また、横浜市教育委員会が実施する初級・中級・上級にレベル分けした「日本語指導養成講座」について情報提供いただいたり、実際に門真市の管理職や日本語指導対応教員に対して師範的な意味を含めてご講義いただいたりしたことは、門真市教育委員会が教員研修を計画・実施していくにあたって非常に参考になる内容であった。</p> <p>今後、可能な範囲でセンター校方式を採用している地域・学校の視察等も行いながら、中長期的な視野で門真市における日本語指導体制について検討するとともに、門真市の課題に即した形で研修等を実施し、日本語指導対応教員をはじめとした教員の資質向上に努めていきたい。</p>